

畳の世界進出

宮城県仙台第三高等学校 23班

1. 背景と目的

もともと韓流ブームがどのようにして世界的な成功を収めたのかを調査した。その過程で、韓国ドラマや料理、音楽といったコンテンツが単なるエンターテインメントだけでなく、韓国文化そのものを世界に広める手段として機能していることに気付いた。日本の伝統文化である畳にも同様の可能性があるのではないかと考え、畳の世界進出というテーマで探求を始めた。



2 調査方法

- 先行研究の論文
- アンケート調査
- 大学教授への訪問
- インターネット

- 畳のメリット・デメリット
- 外国人からみた畳
- 外国人の知らない畳の魅力を発信
- 畳の現状を改善する

③京都橘大学鈴木あるの教授へのインタビュー

<「世界から見る畳の現状」について調査>

- ・日常生活で見る機会はほとんど無い
- ・富裕層からの需要ある程度あり
- ・日本からの供給が少ない
- ・中国産が世界シェアの8割(ほとんどが低品質)
- ・日本から輸出している畳屋のホームページのUI・英語訳が悪い



①②③④より

畳の好きな理由・嫌いな理由は、日本人と外国人の間で大差なかった。ただ、外国人は「断熱性」についてあまり注目していないに対し、日本人は大きなメリットとして感じていることがわかった。感覚でない部分でも畳のメリットが見られた。海外からの畳の需要はある程度あるのに対し日本からの輸出は少なく中国産がほとんど。



<写真>
左が中国産
右が日本
(熊本)産

3. 調査結果

①一般財団法人住総研の研究

<日本経験のある外国人にアンケート>

- ・畳を好きな理由
→感触、見た目、匂い、自然素材
- ・嫌いな理由
→維持管理、衛生、床に座る



②本校へのアンケート調査

<仙台三高の生徒を対象にアンケート>

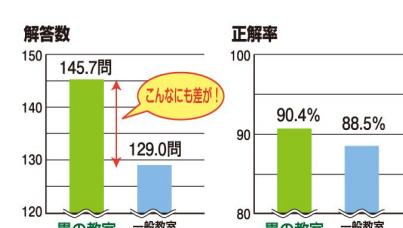
- ・フローリングより畳を好む理由
→落ち着く、感触、断熱性
- ・畳よりフローリングを好む理由
→床に座る、衛生、デザイン性



③北九州市立大学の研究

<中学一年生233人、小学五年生90人を対象に実験>

和室で問題を解かせた場合、洋室の場合と比較しどちらにも回答率の伸びと正解率の維持が認められた。



考察

○外国人の知らない畳の魅力を発信

日本人と大差ない
「断熱性」のみでは弱い

○畳の現状を改善する

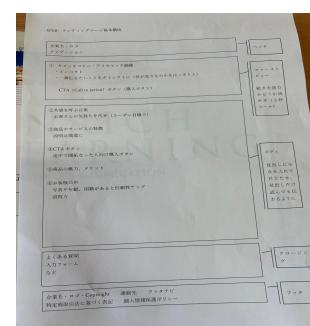
… もったいないと感じる点が多い

- ・畳の魅力を発信することよりも世界から見る畳の現状を改善させるほうが効果的に畳を広げることができるのでないか。
- ・需要があるので中国産が主流の現状を改善させ、日本産の質の高い畳を外国人に味わってほしい。

展望

<畳の現状を改善>

調査結果④の「日本から輸出している畳屋のホームページのUI・英語訳の質が悪い」に注目。我々のグループで、ホームページのデザインの変更・英語翻訳のし直しを提案する。



参考文献

外国人にとっての和室

http://www.jusoken.or.jp/pdf_paper/2023/2004-0.pdf

畳を用いた学習環境が児童・生徒の学習面と情意面に及ぼす影響

https://www.istage.jst.go.jp/article/jhej/60/4/60_4_323/_pdf

畳の効能

<https://www.tori-matsu.jp/wordpress/?p=4>